

提言

有料化による(3億円)を 市民サービスのための新システムに使おう!

1 これからの時代のゴミ収集方式は『戸別収集』だ!!

武蔵野市をはじめ先進自治体では、**有料化した費用を「戸別収集」に当てています。**「戸別収集」は、各戸収集とも呼ばれ、建物ごとの収集です。戸建て住宅について、住宅の敷地内で道路に面した場所にゴミを排出してもらうことにより、地域の住民が共同して利用し、管理する集積所を廃止します。従来から馴染んできた「集積所収集(ステーション方式)」を「戸別収集」に切り換える最大の狙いは何か。それは、「自分のごみに責任を持ってもらうこと」です。



集積所収集では、排出者が特定されないことから不適切な排出を防止できず、設置する場所や清掃管理の当番をめぐるトラブルが絶えない地区も少なくありません。また、カラス被害や不法投棄などの問題に直面し、まちの美観を悪化させている集積所もあります。そこで、**ごみを他人の家のわきにある「集積所に出しておしまい」ではなく、自宅の敷地内の路面に出すことで、「自分ごと」としてきちんと分別や水切りなどの管理をしてもらう戸別収集が編み出されたのです。**また、高齢者・障がい者などの、重いゴミ袋をステーションまで運ぶ等の負担を減らす市民に寄り添ったきめ細かな収集サービスでもあります。

大垣市は有料化分を市民サービスに使わないのでは?



2 位置情報システムを活用した収集効率化を進める「ごみの先進都市」になろう!!

西東京市をはじめ、藤沢市、千葉市、市川市、久留米市、宮崎市など先進自治体が、家庭系ごみや資源ごみの収集戸別化にあたって「位置情報システム」を導入しています。市職員によるモデル地区でのGPS搭載車両



システムの特長	
<p>広域収集がスムーズ</p> <p>「車庫内」車庫」「車庫と車庫」間など、リアルタイム情報共有できるため、広域収集がスムーズです。</p>	<p>ドラレコ連携による収集遅れ後出し対策</p> <p>収集車にドラレコを装着し、収集状況を確認することで、収集遅れによる後出し対策が可能です。</p>
<p>車両の「今」を簡単把握</p> <p>運用車両の一元管理による稼働状況の把握により、効率的な運用が可能です。収集車の稼働状況をリアルタイムで把握し、収集車の稼働状況を確認することができます。</p>	<p>巡回ルートで効率的な作業支援</p> <p>巡回ルートを確認し、収集状況を確認することで、効率的な巡回ルートを確認することができます。</p>

のテスト走行で得た1世帯当たりの作業時間データなどの分析をもとに、必要車両台数を試算、地区割りを行った上で、最適な収集ルートを組み立てた、位置情報システムを活用した収集ルート最適化が、家庭系やごみや資源ごみの戸別収集実施による経費増を抑制する効果を上げたことは明らかです。収集車両のタブレットを搭載する位置情報システムは、西東京市において現在、最適な収集ルートの持続的な検証作業のほか、巡回ルート表示による収集もれへの即時対応や発生抑止、車両追跡の確認による後出し苦情への対応、不適正排出や不法投棄の現場撮影、収集担当者の入れ替わりや突発的な収集ルート変更時のルート確認、車両間連携への対応などに役立てられています。

3 バイオマス発電センターを作ろう!!

バイオマス発電とは
下水汚泥・し尿・浄化槽汚泥・生ごみなどを発酵する際に発生するガスで発電するシステムのことです。CO2の削減につながります。



すごいね! 生ごみで発電ができるんだ!



赤鉛筆『急いで事は仕損じる』 実施を1年延期して、システムを構築しよう!



私は「ごみの有料化」自体に反対しているわけではありません。しっかりとしたビジョンや方針を持って「ごみの有料化」を丁寧に行うべきです。大垣市の「ごみの有料化」は、指定のゴミ袋をただ有料化し、ごみの減量化を行うという単純な施策です。「ごみの有料化」による増税分を新しい市民サービスに使う訳ではありません。

先進自治体の「ごみの有料化」は、単なる「指定ごみ袋の有料化」ではなく、高齢者や障がい者の「ゴミ出し負担の軽減」や「自分のごみに責任を持つ」ごみを「自分ごと」にする効果のある「個別収集」や「位置情報システム」を活用して収集の効率化をして、**市民サービスを付加しています。**

コロナ禍やウクライナ侵攻による円安物価高ラッシュの今こそ、**有料化の実施を1年延期して、本当に市民のための「大垣版 新ごみの有料化システム」を構築してから実施すべきです。**



いっしょに風を創ろう
大垣市議会議員

岡田まさあき

〒503-0824 大垣市旭町1丁目5番地 TEL 71-8677 FAX 75-2455
Eメール wind-mo@ps.mirai.ne.jp ホームページ&ブログ http://www.o-masaaki.jp

